

恒例の「平和のためのつどい」を開きました 8月19日(金)

今年は猛暑の上、オリンピックと高校野球が熱戦の最中で、エアコンの効いた部屋でスポーツ観戦という人が多かったのでしょうか、参加者は14人と多くはありませんでしたが、平和の祭典の一方で、生きることすら困難なシリア難民の状況に思いをはせるひとときになりました。

シリア難民は今—DVD「2016年2月トルコ・シリア国境」から

今年2月、西谷文和さんがトルコでシリア難民を取材した映像は17分と短いものですが、最初の映像は、シリア難民がトルコに流れてこないようにトルコが作った長〜い壁（去年まではありませんでしたという西谷さんの声）、アサド軍（政府軍）やアサド政権を守るロシア軍の空爆で、足が片方あるいは両方ない人、ひどいやけどを負い、左目は失明、右目はわずかに見えているという、横になったまま涙を流す若い男性（イブラヒーム。父親が5,000ドル（60万円）で手術できると言っていた）、病院の廊下に寝かされた、骸骨がやけどを負ったかのような人、部屋の中に調理のための木の枝を積み上げている5人の子の母（夫は空爆で殺された）、難民のための小学校では子供たちが元気に勉強していたが、多くの子どもたちが家族を殺されていた、障害児2人を育てている離婚した母、夫は殺され、農婦として働いているが、冬と雨の日は仕事がなく、家賃が払えず退去を迫られている子供を抱えた女性、最後は、粉ミルク、風邪薬、抗生物質などを積んだ軽トラックの横で西谷文和さんが「とても足りませんが、ここよりもっとひどいアレッポに届けてもらいます」と話す場面で終わっています。



（追記）8月30日に届いた「イラクの子どもを救う会ニュース」No.43によると、西谷さんの募金によるイブラヒーム青年の右目手術が成功し、目が見えるようになった彼は外出できるようになるまで回復した、とのこと。現在、空爆で両親を失い、顔にひどい火傷を負ったリムさん、イスマイルくん姉弟の顔面への皮膚移植手術のための募金を訴えています。（郵便振り込み 00970-5-222501）

5歳児救出映像に衝撃—内戦の悲惨さ、あらわに



8月17日、シリア北部アレッポで、空爆を受けた建物のがれきの中から救出され、救急車のいすに座る5歳のオムラン・ダクニシュちゃん。半袖半ズボン姿の全身は灰にまみれ、ぼうぜんとした表情。顔の左側は負傷して血に染まり、片目しか開かない状態です。泣くこともできない男児を見て、撮影した記者たちが泣いたと報じられています。2011年以降で29万人以上が命を落とした内戦の悲惨さが改めて浮き彫りになっています。

シリア第2の都市、アレッポは政権側と反体制派が攻防を繰り返す激戦地です。双方は民間人の犠牲を省みず攻撃の応酬を続けており、国際社会で即時停戦を求める声が高まっています。8月26日、シリア内戦の停戦実現や人道援助の実施に向け、ケリー米務長官とロシアのラブロフ外相がスイス・ジュネーブで会談しましたが、具体的成果を示しませんでした。

シリア難民支援カンパをお願いしたところ、4,600円集まりましたので、1万円を西谷文和さんに送りました。西谷さんからお礼メールが届きました。

「いつもありがとうございます。今度は(5月に続き)11月にシリア難民支援でトルコに入りますので、その際に使わせていただきます」

バザーの売り上げは、12,220円でした

バザーに不要品を提供して下さった皆さん、購入して下さった皆さん、有り難うございました。「憲法9条の会・岩岡」の運営資金として使わせていただきます。

「護憲」をあきらめるのはまだ早い —参院選投票結果が語るもの

吉竹幸則(フリージャーナリスト・元朝日新聞記者)

今回の参院選で改憲勢力が3分の2になった。既成マスコミは「与党圧勝」を伝え、改憲発議は不可避とのあきらめムードも一部に広がっている。でも、そうではない。昨年の違憲安保法制阻止で国会を取り巻いた市民運動の成果は確実に上がっている。3年踏ん張れば、…。その間、どう闘うかである。

今回の投票結果を見て、一番改憲に焦りを強めているのは安倍晋三首相本人だという。自民党筋から流れてきた話だ。安倍氏がなぜ焦っているのか。今回の獲得議席数を詳しく見れば、簡単にわかることだ。

確かに今回の選挙で改憲勢力は3分の2を占めた。でもよく見れば、民主政権崩壊の影響を受けた3年前の参院選自民圧勝の貯金である。獲得議席数でみると、自民の前は65。今回は56と9議席減らしている。公明は11から14。一方民進(前は民主)は、17から32に増えた。共産は前回の8が今回は6。6年前の選挙より倍増したが、野党協力で候補者を減らした影響もあるだろう。

この選挙結果が3年後もそのまま続くと仮定すると、改憲勢力は再び3分の2を割り、発議は困難になる。改憲が悲願の安倍氏にとって残された期間は「この3年」ということになる。

本丸の9条は国民の抵抗感が強い。他の改憲から手をつけるのではないかとこれまでも言われてきた。しかし、3年後からはさらに難しいとなれば、9条改憲が本丸と位置付ける安倍氏は、9条以外の小手先の改憲で満足するかどうか。今後さらに強硬に出るかもしれない。

ただ安倍氏が焦って強引に9条に手をつければ、ボロも出る。護憲派にほ格好の攻めどころになるはずだ。衆院解散がいつあるかは分からない。しかし、次期参院選までの3年間で、護憲派政党や市民グループにとって、最大の踏ん張りどころ、正念場なのだ。(後略)

陶芸教室(第2回)を開きます

共催：年金者組合岩岡分会、医療生協岩岡支部

と き:9月17日(土)13:00~

ところ:老人大学・いなみ野学園 *12時半にヒラキ前駐車場にお集まり下さい。

費用:1,500円

お申し込みは、「憲法9条の会・岩岡」、年金者組合岩岡分会、医療生協岩岡支部までお願いします。

お願い 「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」にご協力下さい

ニュース第106号に同封させていただいた署名用紙を、世話人にお渡しいただくか、事務局にお送り下さい。「憲法9条の会・岩岡」が集めた署名は、昨年11月21日に被爆体験をお話し下さった貞清百合子さんにお届けします。

催し物のお知らせ

講演:「永続敗戦論」から平和憲法を考える

講師：白井聡さん(京都精華大学専任教員)

と き：9月25日(日)14:30~16:30(開場14:00)

ところ：兵庫県保険医協会5階会議室(JR元町駅東口から南へ徒歩7分) 参加費：500円

主催：九条の会・兵庫県医師の会

第101回世話人会

と き: 2016年9月23日(金)13:30~ ところ: 岩岡連絡所多目的ホール(小)

2016年度の会の活動、10周年記念行事について話し合います。

どなたでもご参加下さい。

「憲法9条の会・岩岡」事務局 〒651-2401神戸市西区岩岡町岩岡619-97 白井篤子